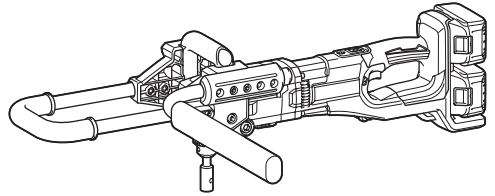


Makita

取扱説明書

充電式アースオーガ

モデル DG460D



このたびは充電式アースオーガをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ 充電式アースオーガ安全上のご注意	12
・ 各部の名称および標準付属品	14
・ 別販売品のご紹介	15
・ バッテリーについて（別販売品）	16
・ 使用前の組立	18
・ ハンドルグリップと反力受けバー取り付け方	18
・ 互換アダプタの取り付け・取りはずし方	20
・ チャックキーの収納方法	20
・ アースオーガドリルビットの取り付け方	21
・ 使い方	22
・ ハンドル下部の穴について	22
・ スイッチの操作	23
・ ライトの点灯	24
・ 正逆転切り替えレバーの操作	25
・ モードランプ	25
・ 高低速切り替えレバーの操作	26
・ 本製品の持ち運び方	27
・ 作業方法	28
・ 穴掘り方法	28
・ トルクリミッタについて	29
・ アングルドリルとして使用する	31
・ ハンドル部の組み替え	31
・ ランヤード（テザーストラップ）の取り付け	33
・ フロントハンドルの角度調整	34
・ ビットの取り付け・取りはずし方	35
・ 穴あけ方法	35
・ 保護機能	36
・ 本製品およびバッテリーの保護機能	36
・ 故障かな？と思ったら	37
・ 保守・点検について	38
・ 本製品のお手入れ	38
・ ご修理の際は	38

主要機能

主要機能	モデル	DG460D
電動機		DC ブラシレスモータ
使用可能バッテリー		リチウムイオンバッテリー
		BL1815N (容量 1.5 Ah) BL1820B (容量 2.0 Ah) BL1830 (容量 3.0 Ah) BL1830B (容量 3.0 Ah) BL1840 (容量 4.0 Ah) BL1850 (容量 5.0 Ah) BL1850B (容量 5.0 Ah) BL1860B (容量 6.0 Ah)
電圧		直流 36 V (18 V × 2)
回転数		高速 : 0 ~ 1,400 min ⁻¹ (回転 / 分) 低速 : 0 ~ 350 min ⁻¹ (回転 / 分)
最大穴あけ能力		土壌 (粘土混じり) : ~ φ 150 mm 土壌 (砂混じり) : ~ φ 200 mm
ドリルチャック能力		2 ~ 13 mm
本製品寸法		長さ 840 mm × 幅 607 mm × 高さ 223 mm
質量		7.7 kg

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。




推奨バッテリーアダプタ類

PDC01, PDC1200

- ・ 詳細は各バッテリーアダプタ類の取扱説明書をご参照ください。

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について


ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ バッテリーを本機に挿し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本機に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本機から抜いてください。
 - 本機の調整
 - 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - 保管、または修理
 - 電動工具から離れるとき
 - 本機の受け渡し
 - その他危険が予想される作業
4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - 充電工具や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本機の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを挿し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - スwitchがオンの位置にあるときにバッテリーを挿し込むと事故につながります。

⚠ 警告

2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・本機または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
 - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
 - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・バッテリーを周囲温度が 50℃以上になる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発熱、発火の恐れがあります。
11. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
14. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発熱の原因になる恐れがあります。

⚠ 警告

15. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。

- 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
- 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています（右図の○部分）。



16. 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。火傷、低温火傷の原因になるため注意してください。

- 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているため火傷の恐れがあります。

17. バッテリーに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。

- 性能が低下したり、故障の原因になります。

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

- 本機、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- 本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

⚠ 警告

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
<異常・故障例>
 - ・ 本機やバッテリーが異常に熱い。
 - ・ 本機やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。

- ・ スwitchを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

- ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。

4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。

- ・ 爆発や火災の恐れがあります。

5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。

- ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
- ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

6. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。

- ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 警告

9. 正しく充電してください。

- ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
- ・ 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ・ ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ・ 周囲温度が 10 °C 未満、または周囲温度が 40 °C 以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・ 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
- ・ 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。

- ・ 感電の恐れがあります。

11. 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。

- ・ 誤動作や故障する恐れがあります。

12. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- ・ 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用していただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式アースオーガとして、さらに次の注意事項を守ってください。

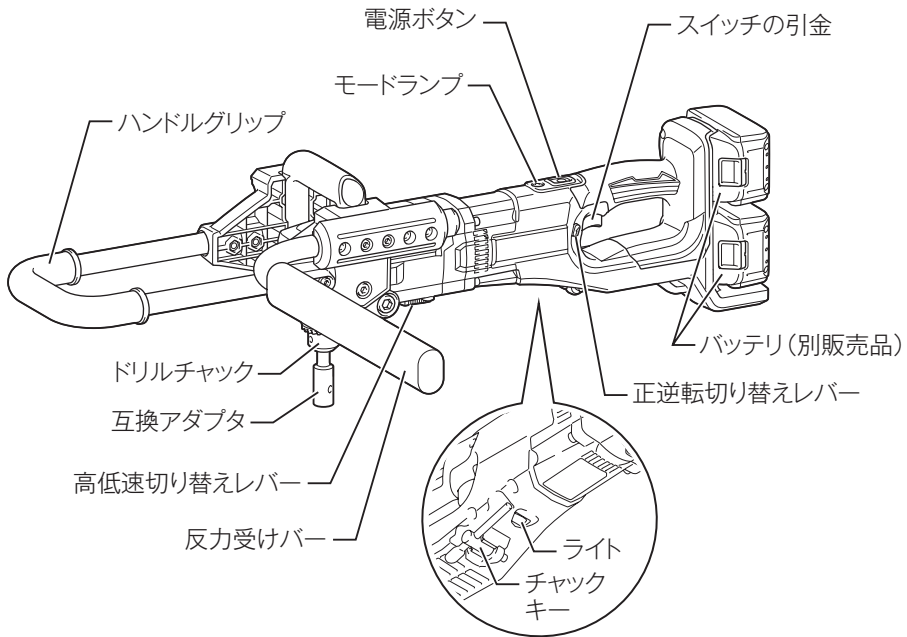
⚠ 警告

1. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - ・ 埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
2. 片方の手は本機のグリップ部、もう片方の手はハンドルグリップ部を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
3. 使用中は、振り回されないよう本機を確実に保持してください。
 - ・ 振り回され、けがの原因になります。
4. 使用中は、ビットや回転部、掘った土などの排出物に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
5. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
6. アースオーガドリルビットを逆転させて抜くときは、本機に身体を押し当てながら抜いてください。
 - ・ 振り回され、けがの原因になります。
7. 使用中、本機の調子が悪かったり異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
8. 誤って落としたりぶつけたときは、工具類や本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
9. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
10. 作業をしていない時は、誤った操作による事故を防ぐため、電源スイッチを OFF にして電源ランプが消灯していることを確認してください。また、正逆転切り替えレバーを中立の位置にしてトリガをロックしてください。
 - ・ 本機は電源を入れた後、5分間スイッチトリガを引かない場合、自動的に電源が切れる機能を備えています。

⚠ 注意

1. 工具類や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 付属のボルトを過度の力で締め付けて、部品が破損しないようにしてください。また損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 破損があると、けがの原因になります。
3. ハンドルグリップ、および反力受けバーが確実に固定されていることを確認してください。また使用前にネジのゆるみや欠落した部品などがないか確認してください。
 - ・ ゆるみや欠損があると、けがの原因になります。
4. チャックに互換アダプタを取り付ける際は、奥まで差し込まれていることを確認してください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
5. 先端工具がチャックに食い込んで取れなくなった場合は、手で取らずにペンチなどを使って取りはずしてください。
 - ・ けがの原因になります。
6. 互換アダプタにアースオーガドリルビットを取り付ける際は、ピンがロックされていることを確認してください。また損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
7. 使用前に異物（砂・土など）が風窓や可動部に詰まってないか点検してください。
 - ・ 本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、けがや故障、破裂などの原因になります。
8. アースオーガドリルとして使用する場合は、低速モードを使用してください。
 - ・ けがの原因になります。
9. 休憩時など本機から離れるときは、土に刺した状態や壁に立てかけたりせず、本機が安定した状態で保管してください。
 - ・ けがの原因になります。
10. 雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用しないでください。
 - ・ 故障の原因になります。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ 互換アダプタ
- ・ チャックキー
- ・ 六角棒スパナ (5)
- ・ 六角棒スパナ (6)
- ・ 六角棒スパナ (10)

注

- ・ 本製品は、ハンドル部を組み替えることでアングルドリルとして使用することができます。
詳細については、31 ページをご参照ください。

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ バッテリー BL1815N (容量 1.5Ah)
部品番号：A-60311
- ・ バッテリー BL1820B (容量 2.0Ah)
部品番号：A-61715
- ・ バッテリー BL1830B (容量 3.0Ah)
部品番号：A-60442
- ・ バッテリー BL1850B (容量 5.0Ah)
部品番号：A-59900
- ・ バッテリー BL1860B (容量 6.0Ah)
部品番号：A-60464
- ・ アースオーガビット
φ 100 × 800 mm
部品番号：A-71657
- ・ アースオーガビット
φ 150 × 800 mm
部品番号：A-71663
- ・ アースオーガビット
φ 200 × 800 mm
部品番号：A-71679
- ・ アースオーガビット用延長バー
540 mm
部品番号：A-71685
- ・ アースオーガビット用ピン
部品番号：A-71691
- ・ ポータブル電源ユニット
PDC01
部品番号：A-69098
- ・ ポータブル電源ユニット
PDC1200
部品番号：A-71825
- ・ バッテリアダプタセット品
(18 V × 2)
部品番号：A-69076

バッテリーについて（別販売品）

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

バッテリーについて（別販売品）

バッテリーの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

本製品にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

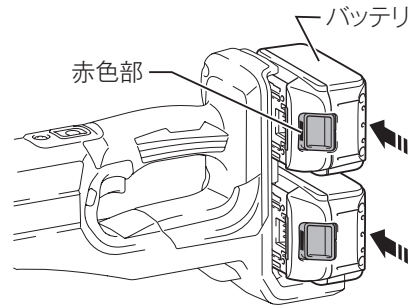
- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。

バッテリーは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

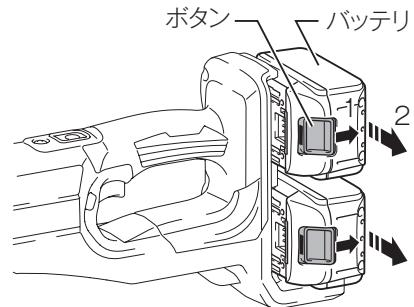
取り付け方

- ・ バッテリーを本製品の溝に合わせ、赤色部分が見えなくなるまで差し込みます。



取りはずし方

- ・ バッテリーのボタンを
 1. 矢印方向に押しながら
 2. 引き出します。

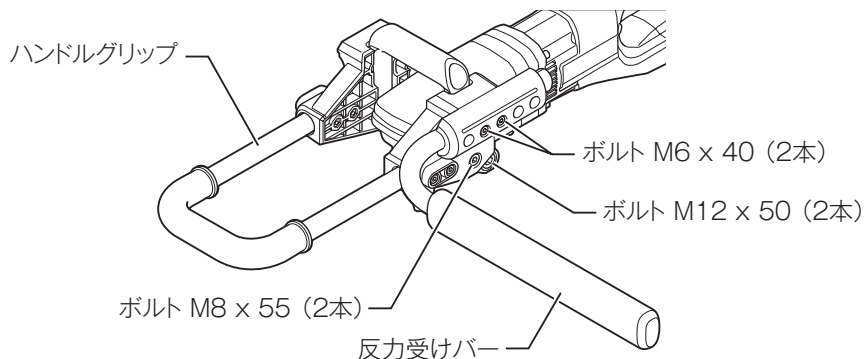


注

- ・ 必ず充電済みのバッテリー 2 本を取り付けてください。
- ・ バッテリーが 1 本の場合やバッテリー 2 本のうち片方が充電されていない場合はスイッチが入りません。

使用前の組立

ハンドルグリップと反力受けバー取り付け方



⚠ 警告

ハンドルグリップと反力受けバーの取り付けの際は、必ずバッテリーを抜いてください。

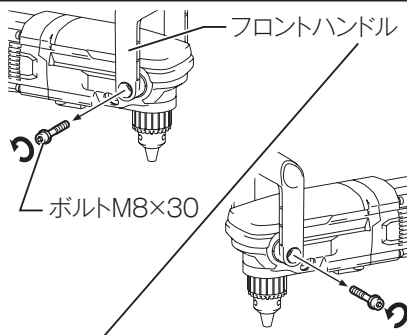
- ・ 本製品が作動して、けがの恐れがあります。

⚠ 注意

付属のボルトを過度の力で締め付けて、部品が破損しないようにしてください。

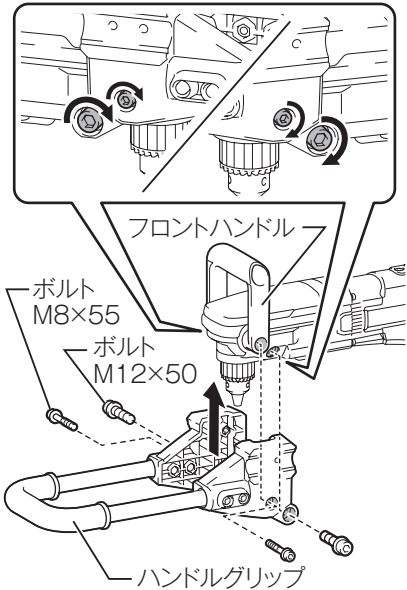
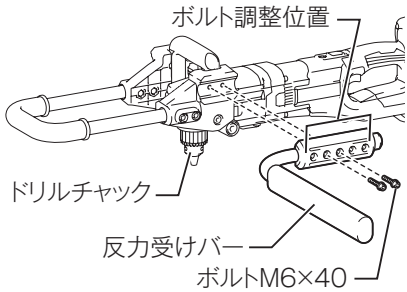
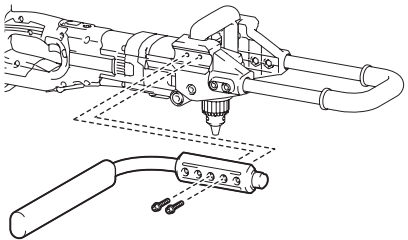
- ・ 破損があると、けがの原因になります。

1. フロントハンドルの固定用ボルト (M8 x 30(2本)) を取りはずします。



使用前の組立

注

- 取りはずしたフロントハンドルの固定用ボルトは、ハンドルグリップと反力受けバーの取り付けには使用しません。アングルドリルとして使用する際に必要となるため、大切に保管してください。
2. フロントハンドルを図の位置にします。
 3. ハンドルグリップを下側から、ハンドルグリップの溝とフロントハンドルが合わさるように取り付けます。
 4. ハンドルグリップの固定用ボルト (M12 × 50 (2本)) と (M8 × 55 (2本)) を全て仮締めし、その後本締めします。
- 
- 5. 反力受けバーを固定用ボルト M6 × 40 (2本) で取り付けます。
 - 反力受けバーを身体の左側に当て、ドリルチャックが身体の正面にくるように、ボルトの位置を調整してください。ボルトを締める位置を変更することで、4段階に調整できます。
- 
- スイッチを左手で操作したい場合は、図の方向に反力受けバーを取り付けます。
- 

使用前の組立

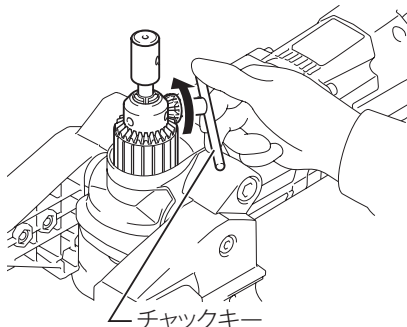
互換アダプタの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

互換アダプタの取り付け・取りはずしの際は必ずバッテリーを抜いてください。

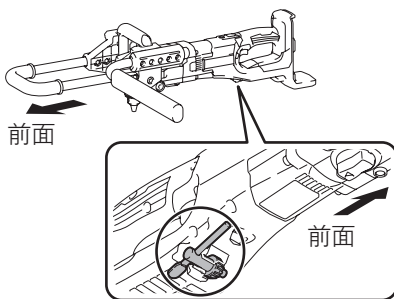
- ・ 本製品が作動して、けがの恐れがあります。

- ・ ドリルチャックの3カ所の穴のうち1カ所の穴にチャックキーを差し込み、反時計方向へ回しますとドリルチャックの先端のツメが開きます。互換アダプタを差し込み、チャックキーを図のように時計方向に回して締め付けてください。この際、1カ所だけをチャックキーで締め付けず、3カ所を均等に締め付けてください。
- ・ 取りはずす場合は、ドリルチャックの穴にチャックキーを差し込み、反時計方向へ回してゆるめ、互換アダプタを抜き取ってください。



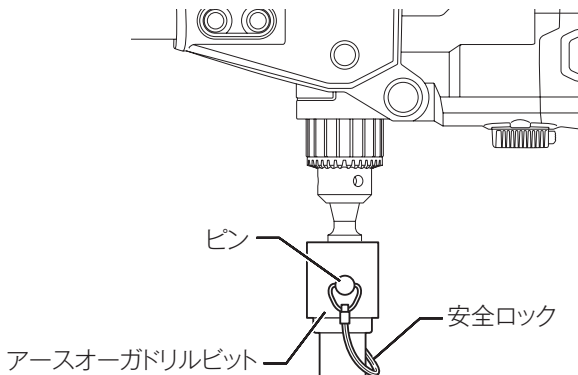
チャックキーの収納方法

- ・ チャックキーを使用しないときは、本製品底面に、図のような向きで取り付けることができます。



使用前の組立

アースオーガドリルビットの取り付け方

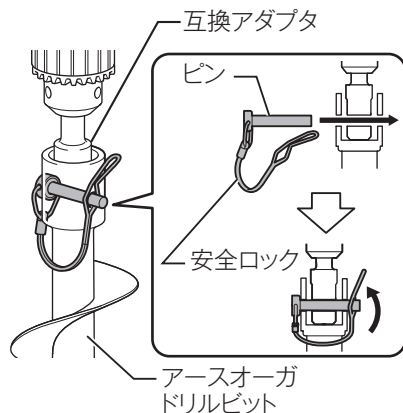


⚠ 警告

アースオーガドリルビットの取り付けの際は、必ずバッテリーを抜いてください。

- ・ 本製品が作動して、けがの恐れがあります。

1. アースオーガドリルビットを互換アダプタに取り付けます。
 - ・ アースオーガドリルビットの穴と互換アダプタの穴の位置を合わせて取り付けます。
2. ピンを穴に差し込み、安全ロックで固定します。

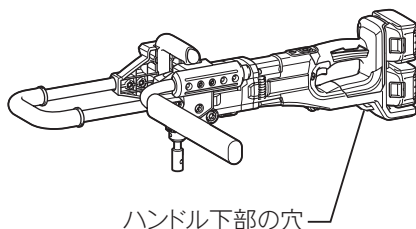


使い方

ハンドル下部の穴について

⚠ 警告

本製品のハンドル下部の穴は、運搬または工具の盗難防止以外の用途（高所での落下防止など）には使用しないでください。



使い方

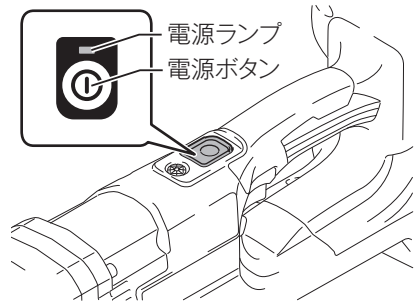
スイッチの操作

⚠ 警告

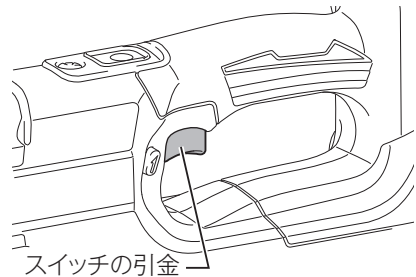
本製品にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。

- ・ 電源ボタンを長押しすると電源が入り、電源ランプが点灯します。もう一度押しすと電源ランプが消灯します。



- ・ 電源が入っている状態で引金を引くとスイッチが入り、放すと切れます。
- ・ スイッチは引金の引き加減により、お望みの回転数が得られます。



注

- ・ スイッチの引金を6分以上引き続けると、本製品は停止します。
- ・ 引金を操作しない状態が5分続くと、自動的に電源が切れます。
- ・ 本製品を使用しないときは、電源ボタンをOFF（電源ランプが消灯）にしてください。

使い方

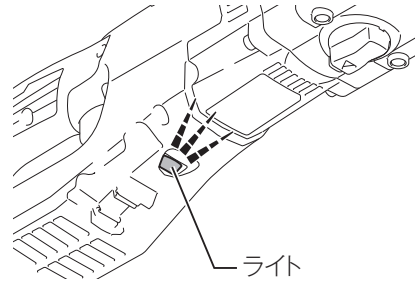
ライトの点灯

⚠ 注意

ライトの光を直接のぞき込んだり、目に当てないでください。

- ・ ライトの光が連続して目に当たると、目をいためる原因になります。

- ・ スイッチの引金を引くとライトが点灯し、スイッチの引金を引いている間ライトは点灯し続けます。
- ・ スイッチの引金を放すと、約 10 秒で消灯します。



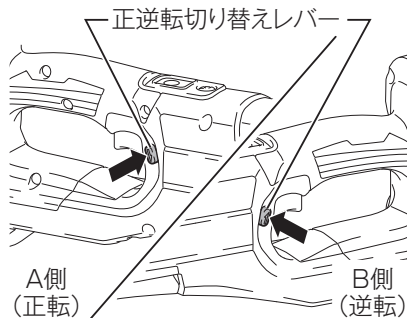
注

- ・ ライトレンズ部に付着したゴミは、綿棒などで拭き取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、照度低下の原因になります。

使い方

正逆転切り替えレバーの操作

- ・ 切り替えレバーの A 側を押すと右回転（正転）し、B 側を押すと左回転（逆転）します。
- ・ 切り替えレバーを中間の位置にすると、スイッチの引金が引けなくなります。



注

- ・ ご使用前には、必ず回転方向を確認してください。
- ・ 正転・逆転の切り替えは、モータの回転が完全に停止した状態で行ってください。回転中に切り替えますと故障の原因になります。
- ・ 本製品を使用しないときは、切り替えレバーを中間の位置にしておいてください。

モードランプ

- ・ 本製品には、「ハイスピードモード」と「ハイトルクモード」があり、作業負荷に応じてこの2つのモードが自動的に切り替わります。

ハイスピードモード：

作業負荷が比較的低いとき。回転数が高い状態です。

ハイトルクモード：

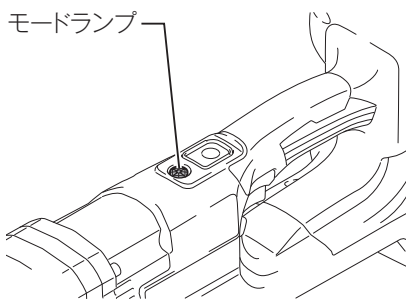
作業負荷が比較的高いとき。回転数が低くなる代わりに、回転力が強くなります。

- ・ モードは、モードランプによって表示されます。

ハイスピードモード：消灯

ハイトルクモード：点灯

さらに作業負荷が高くなると、モードランプは点滅します。



使い方

高低速切り替えレバーの操作

⚠ 警告

切り替えレバーの操作は、必ずモーターが停止してから行ってください。

- ・ ビットが急に回り、けがをする恐れがあります。

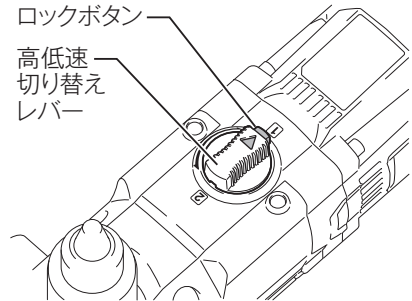
⚠ 注意

アースオーガドリルとして使用する場合は、低速モードを使用してください。

- ・ けがの原因になります。

アングルドリルとして使用する場合は、高速モードと低速モードの両方で使用できます。

- ・ 回転数の基本設定を2段階で切り替えることができます。
- ・ 切り替えレバーを1にセットすると低速、2にセットすると高速になります。
- ・ 切り替えレバーはロックボタンを押しながら操作してください。



注

- ・ 切り替えレバーは、カチッとロックされるまで確実に回してください。途中の位置で使用されますと切り替え機構の寿命を縮める恐れがあります。

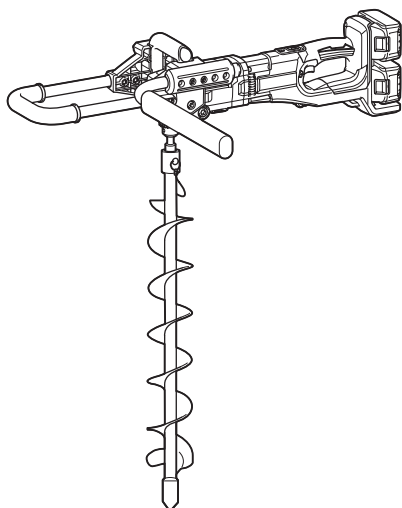
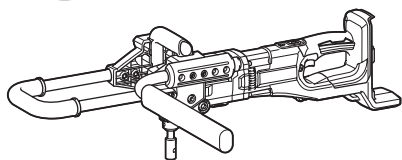
使い方

本製品の持ち運び方

⚠ 警告

本製品を持ち運ぶ際には、アースオーガドリルビットなどの付属品およびバッテリーを取りはずしてください。

- ・ けがの恐れがあります。



作業方法

穴掘り方法

⚠ 警告

使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。

- ・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

使用中は、ビットや回転部、掘った土などの排出物に手や顔などを近づけないでください。

- ・ けがの原因になります。

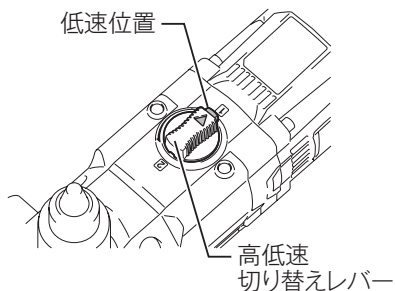
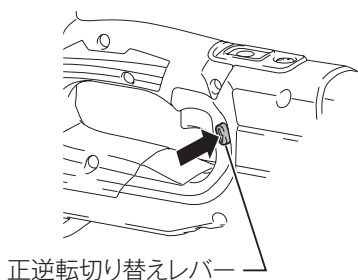
使用中、本製品の調子が悪かったり異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。

- ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。

使用中は、振り回されないよう本製品を確実に保持してください。

- ・ 振り回され、けがの原因になります。

1. 正逆転切り替えレバーを右回転（正転）の位置にします。また高低速切り替えレバーを低速の位置にします。

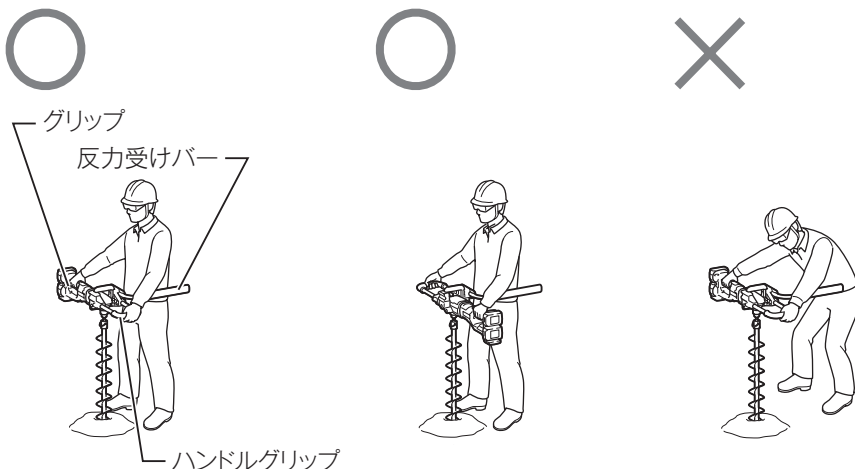


作業方法

- 片方の手は本製品のグリップ部、もう片方の手はハンドルグリップ部を持ちます。また反力受けバーを身体に押し当てながら穴を掘ります。

⚠ 注意

作業中は姿勢が前のめりにならないように注意してください。
深めの穴を掘る際は、膝を曲げながら作業してください。



反力受けバーを身体の左側に当てることで、安定して作業することができます。

注

- 本製品を無理に押しつけて回転数を大幅に低下させることは避けてください。作業能率が低下するばかりでなく、本製品の寿命も短くなります。
- 本製品の回転数が低下してしまう場合（粘土混じりの土壌や深い穴を掘る場合など）は、本製品を上下に動かし、土を排出しながら少しずつ掘ってください。

トルクリミッタについて

- ビットに所定のトルクがかかると、トルクリミッタが作動し、ビットにモータの回転が伝わらない構造になっています。

注

- トルクリミッタが作動したときは、すぐにスイッチを切ってください。

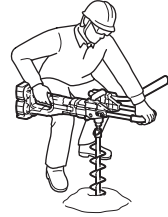
作業方法

3. アースオーガドリルビットが穴から抜けなくなった場合は、正逆転切り替えレバーを左回転（逆転）位置にし、ビットを逆転させながら引き抜きます。

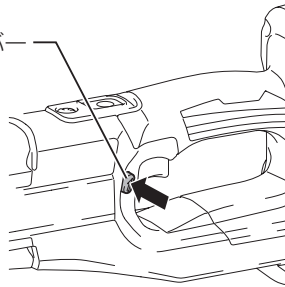
⚠ 警告

アースオーガドリルビットを逆転させて抜くときは、本製品に身体を押し当てながら抜いてください。

- ・ 振り回され、けがの原因になります。



正逆転切り替えレバー



アングルドリルとして使用する

本製品は、ハンドル部を組み替えることでアングルドリルとして使用することができます。

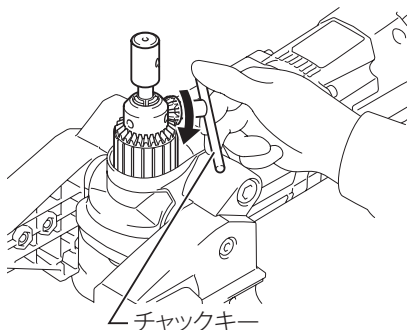
ハンドル部の組み替え

⚠ 警告

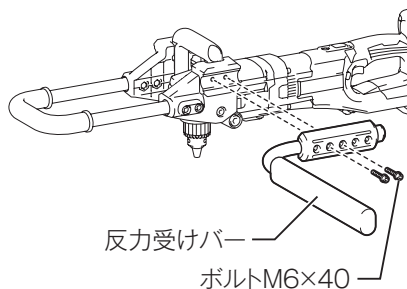
ハンドル部の組み替えの際は、必ずバッテリーを抜いてください。

- ・ 本製品が作動して、けがの恐れがあります。

1. 互換アダプタを取りはずします。
ドリルチャックの3カ所の穴のうち1カ所の穴にチャックキーを差し込み、反時計方向へ回してゆるめ、互換アダプタを抜き取ってください。

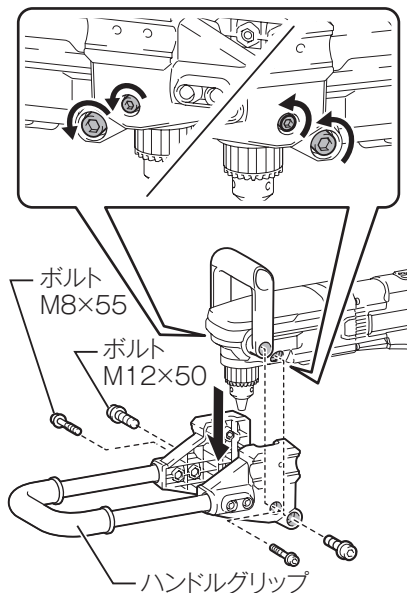


2. 反力受けバーを取りはずします。

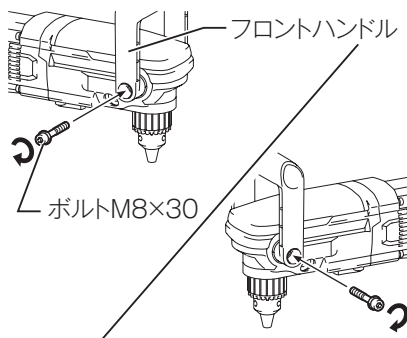


アングルドリルとして使用する

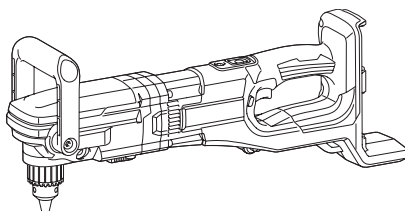
3. ハンドルグリップを取りはずします。



4. 保管しておいたフロントハンドルの固定用ボルト (M8 × 30 (2 本)) で、フロントハンドルを取り付けます。



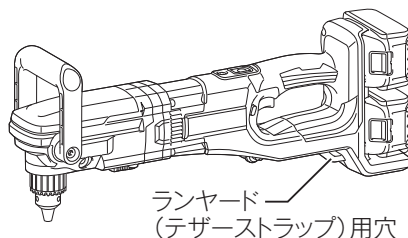
5. アングルドリルとして使用できます。



アングルドリルとして使用する

ランヤード（テザーストラップ）の取り付け

- ・ 本製品には、ランヤード（テザーストラップ）を取り付けるための穴があります。高所で作業する場合は、本製品の落下時の事故を防ぐため、必ずランヤード（テザーストラップ）をご使用ください。



⚠ 警告

必ず以下の注意事項に従ってご使用ください。

- ・ 深刻なけがをする恐れがあります。
- 1. 高所で作業する場合は、必ずランヤードを取り付けてください。また、長さ 2 m 以内のランヤードをご使用ください。ランヤード使用時の最大許容落下高さは 2 m です。
- 2. 本製品に適した、耐荷重 7.0 kg 以上のランヤードをご使用ください。
- 3. ランヤードは、本製品の落下に耐えられる堅固な構造物に取り付けてください。自分の身体や、動く可能性のあるものには取り付けないでください。
- 4. ランヤードの両端がしっかりと固定されていることを確認してからご使用ください。
- 5. 本製品とランヤードに損傷や異常がないか確認してください（布部分やぬい目も含む）。損傷や異常がある場合は、使用しないでください。
- 6. ランヤードを何かに巻きつけたり、鋭い角に当てたりしないでください。
- 7. ランヤードは落下時にしっかりと支えることができる作業範囲外に固定してください。
- 8. ランヤードは、落下時に本製品が作業者に接近しないような場所に取り付けてください。落下した本製品が揺れて、けがや、バランスを崩す原因になります。
- 9. 動くものや、動作中の機械の近くで使用しないでください。ランヤードが切れたり絡まったりする恐れがあります。
- 10. 本製品を持つときは、取り付け部やランヤードを持たないでください。
- 11. 本製品を運ぶときは、バランスのとれた姿勢で、両手で持ってください。
- 12. ランヤードは、ガード部分、スイッチまたはロックオフ部分の動作を妨げないように取り付けてください。
- 13. ランヤードが身体に絡まないように注意してください。
- 14. ランヤードを本製品の可動部分に近づけないでください。
- 15. カラビナは、ロック付のカラビナを使用してください。
- 16. 落下した工具は使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検をお申し付けください。

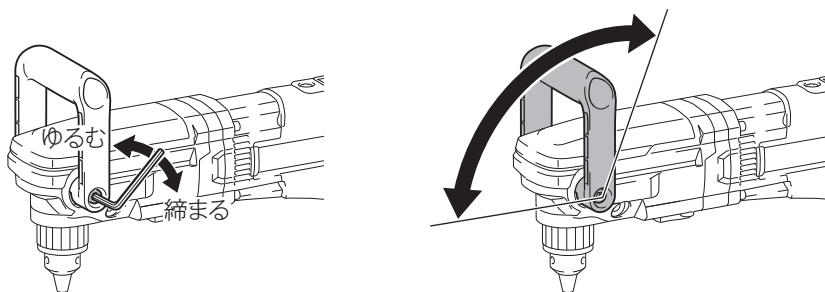
アングルドリルとして使用する

フロントハンドルの角度調整

⚠ 警告

フロントハンドルの調整時には、必ずバッテリーを抜いてください。

- ・ 本製品が作動して、けがの恐れがあります。
- ・ 図のように、六角棒スパナでボルトをゆるめ、ハンドル角度の調整後、再びボルトを締めます。



注

- ・ 調整後は、フロントハンドルがしっかりと固定され、動かないことを確認してください。

アングルドリルとして使用する

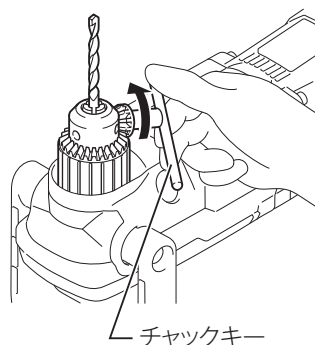
ビットの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

ビットや付属品などの取り付け・取りはずしの際は必ずバッテリーを抜いてください。

- ・ 本製品が作動して、けがの恐れがあります。

- ・ ドリルチャックの3カ所の穴のうち1カ所の穴にチャックキーを差し込み、反時計方向へ回しますとドリルチャックの先端のツメが開きます。ビットを差し込み、チャックキーを図のように時計方向に回して締め付けてください。この際、1カ所だけをチャックキーで締め付けず、3カ所を均等に締め付けてください。
- ・ 取りはずす場合は、ドリルチャックの穴にチャックキーを差し込み、反時計方向へ回してゆるめ、ビットを抜き取ってください。



穴あけ方法

⚠ 警告

穴の抜けぎわは、ビットが折れたり、本製品に大きな力がかかり振り回される恐れがあります。穴の抜けぎわを確認しながら慎重に作業してください。

- ・ けがの原因になります。

ビットを逆転させて抜くときは本製品が振り回される恐れがありますので本製品をしっかりと保持してからスイッチを入れてください。

- ・ 確実に保持していないと、けがの原因となります。

- ・ 金属に穴をあける場合は、穴をあけたい位置にセンタポンチでクボミを作り、そのクボミにビットの先をあてがえば、ビットの先がすべらず正確な位置に穴あけができます。
- ・ 穴あけ時にはビットに油（マシン油など）をつけて作業してください。

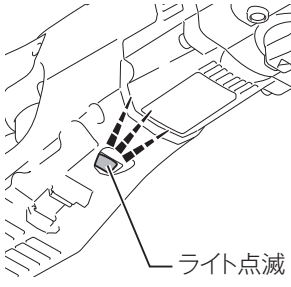
注

- ・ 本製品を無理に押しつけて回転数を大幅に低下させることは避けてください。作業能率が低下するばかりでなく、本製品の寿命も短くなります。

保護機能

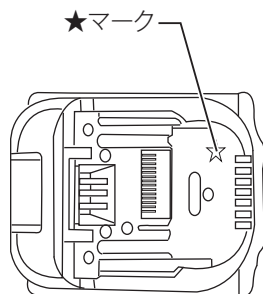
本製品およびバッテリーの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

保護機能	表示
<ul style="list-style-type: none">本製品およびバッテリーの温度が高温になるとモータが自動停止します。<ul style="list-style-type: none">使用を中断して本製品よりバッテリーを取りはずし、冷却ファンつきの充電器で充電および冷却をしてください。バッテリーを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。	 <p>ライト点滅</p>
<ul style="list-style-type: none">バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。<ul style="list-style-type: none">本製品よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。	
<ul style="list-style-type: none">本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。<ul style="list-style-type: none">いったんスイッチを放し、本製品よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。	

★マークについて

図のようにバッテリーに★マークがあるバッテリーは保護機能を搭載しています。



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリーが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 36 ページ参照。

- ・修理をお申し付けの際は、製品、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。

保守・点検について

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを本製品に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

881F55-8
IWT

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)